

国連開発計画 (UNDP)
コンゴ民主共和国事務所
プロジェクトコーディネーター

樋谷 恒孝さん

Tsuchiya Tsunetaka

名古屋大学大学院国際開発研究科でタイの教育開発政策を研究。ブルキナファソで青年海外協力隊として活動後、アルジェリアで商社勤務。国際協力機構 (JICA) 海外長期研修員として英マンチェスター大学大学院に留学、JICA アフリカ部特別嘱託、コンゴ民主共和国のJICA企画調査員、UNDP 警察改革案件担当を経て現職

紛争経験国の地域再統合を支援

大学時代にタイの教育支援をしているNGOに参加したのが、国際協力にかかわるようになったきっかけです。大学院は教育開発が専門でしたが、参加型開発が目玉され始めた時期で、コミュニティー開発に興味があり、青年海外協力隊に応募しました。「もう一度アフリカに戻りたい」と思っていた時、ちょうどアルジェリアで事業を立ち上げる商社があり、入社しました。仕事を任せてくれる社風で、仕事の仕方や人材・組織を育てることを学びました。そこで身に付けた“ソフトスキル”が今も役立っていると感じます。

現在はUNDPに勤務し、帰還難民が多いコンゴ民主共和国で、紛争後コミュニティーの再統合を図る包括的な支援を進めています。例えば司法・警察の強化に加えて、法律に関する知識の普及を図り、住民が不利益を被ることを防ぎます。これはJICA企画調査員、UNDPプロジェクトマネージャーとして同国の警察研修を手掛けた経験を踏まえ、より効果を上げようと自分が提案した案件です。こうした大きなインパクトを与える包括的な取り組みは、国際機関ならではの仕事だと思えます。

